

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定等に係る事業)

令和7年1月31日

協議会名: 武蔵野市地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域公共交通計画策定事業

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③計画等の策定等に向けた方針
<p>1. 実態・ニーズ把握調査の実施 内容:現況整理(①)及び各種調査の実施(②~④) 結果: ①既存資料・データの収集・整理・分析 地域特性の整理、地域公共交通の現況の整理等を行った。 ②住民グループインタビュー 市内3地区の住民から、移動実態や日常の外出で困ること、公共交通の改善して欲しいことなどの潜在ニーズ(生の声)を掘り下げて聞き取った。 ③関係者ヒアリング調査 関係部署や交通事業者に現況や問題点などについてヒアリングを行った。 ④各種利用者アンケート調査 ムーバス、路線バス、タクシー利用者アンケートを実施し、各交通手段ごとの利用属性や利用実態、評価、問題点・改善要望等、把握し、評価・検証を行った。</p> <p>2. 現計画の評価・検証 内容:現計画の施策の実施状況を整理し、事業の評価検証をする。 結果:実施状況に、必要性・実現可能性の項目を加え、事業の評価、次期計画に向けての方向性の再検討を行った。</p> <p>3. 地域公共交通を取り巻く課題整理 内容:前項までの結果及び事業者のヒアリングを踏まえ、地域公共交通が直面している状況や問題点を明らかにする。 結果:状況や問題点から、本市における地域公共交通に求められるニーズと解決すべき課題を整理した。</p> <p>4. 市民アンケート調査 3月に実施予定。 内容:市民の日常的な移動実態や地域公共交通の利用状況、新たなニーズを把握するとともに、現計画の検証(総括)を行うために「市民アンケート調査」を実施する。</p>	<p>地域公共交通計画策定事業は、計画どおり適切に実施されている。</p> <p style="text-align: center;">A</p>	<p>次年度に将来像、基本方針および実施施策の検討を行い、令和8年3月に計画策定予定</p>

(協議会による一次評価の際は記入不要)